



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月14日

上場会社名 株式会社アミューズ 上場取引所 東
コード番号 4301 URL <https://www.amuse.co.jp/>
代表者 （役職名）代表取締役会長 兼 社長 （氏名）大里 洋吉
問合せ先責任者 （役職名）経営企画部長 （氏名）鈴木 啓太 MAIL amuseir@amuse.co.jp
半期報告書提出予定日 2025年11月14日 配当支払開始予定日 2025年12月5日
決算補足説明資料作成の有無： 有
決算説明会開催の有無： 有 （機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	営業収入		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期中間期	40,205	8.0	4,955	154.9	4,991	148.5	3,258	—
2025年3月期中間期	37,235	62.4	1,944	—	2,008	—	160	—

（注）包括利益 2026年3月期中間期 3,965百万円（424.0％） 2025年3月期中間期 756百万円（－％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	200.44	—
2025年3月期中間期	9.66	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年3月期中間期	66,350	40,042	56.0
2025年3月期	60,841	37,120	56.6

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 37,177百万円 2025年3月期 34,454百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
2026年3月期	—	20.00			
2026年3月期（予想）			—	20.00	40.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	営業収入		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	65,000	△4.7	4,300	53.7	4,300	45.1	2,800	69.9	172.50

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有
連結業績予想の修正につきましては、本日（2025年11月14日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更： 無

新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P.11「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご参照ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無

② ①以外の会計方針の変更： 有

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(注) 詳細は、添付資料P.11「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更に関する注記)」をご参照ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2026年3月期中間期	18,623,520株	2025年3月期	18,623,520株
-------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2026年3月期中間期	2,415,625株	2025年3月期	2,013,447株
-------------	------------	----------	------------

③ 期中平均株式数(中間期)

2026年3月期中間期	16,255,153株	2025年3月期中間期	16,601,983株
-------------	-------------	-------------	-------------

(注) 期末自己株式数には、「役員報酬BIP信託」及び「株式付与ESOP信託」が保有する当社株式(2026年3月期中間期326,280株、2025年3月期356,150株)が含まれております。また、「役員報酬BIP信託」及び「株式付与ESOP信託」が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております(2026年3月期中間期351,072株、2025年3月期中間期364,280株)。

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.4「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

1. 決算補足説明資料はT D n e t 及び当社ウェブサイトにて同日公開しております。

2. 当社は、2025年11月21日(金)に機関投資家・アナリスト向け決算説明会を開催する予定です。この説明会にて使用する決算補足説明資料は、開催後、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 中間連結貸借対照表	6
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	8
中間連結損益計算書	8
中間連結包括利益計算書	9
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	11
(会計方針の変更に関する注記)	11
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	11
(セグメント情報等の注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(重要な後発事象)	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

〔連結経営成績〕

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)	増減	増減率 (%)
営 業 収 入	37,235	40,205	2,969	8.0
営 業 利 益	1,944	4,955	3,011	154.9
経 常 利 益	2,008	4,991	2,983	148.5
親会社株主に帰属する 中間純利益	160	3,258	3,097	—

〔連結経営成績の分析〕

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、米国の通商政策による影響が自動車産業を中心に見られるものの、景気は緩やかに回復しているとみられる状況でありました。景気の先行きにつきましては、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が緩やかな回復を支えることが期待されますが、米国の通商政策の影響による景気の下振れリスクに留意する必要があると考えられます。加えて、物価上昇の継続が消費者マインドの下振れ等を通じて個人消費に及ぼす影響なども、わが国の景気を下押しするリスクとなっております。また、金融資本市場の変動等の影響にも一層注意する必要があると考えられます。

このような状況の中、当中間連結会計期間における当社グループの業績は以下になりました。

営業収入につきましては、前連結会計年度において連結子会社でありました(株)A-S k e t c hの全保有株式を譲渡したことに伴う同社の連結除外の影響や前年同期に開催されたSEKAI NO OWARI ARENA TOUR 2024「深海」等の大型コンサートツアーの開催の反動減等の影響があったものの、主にサザンオールスターズLIVE TOUR 2025「THANK YOU SO MUCH!!」や星野源「Gen Hoshino presents MAD HOPE」等の大型コンサートツアー、ブロードウェイミュージカル「キンキーブーツ」の開催等によりイベント収入が大幅に増加したこと、サザンオールスターズや星野源等のコンサートツアーグッズに加えてグループ外のアーティスト等に係るグッズ・商品収入が増加したこと及び(株)極東電視台において番組制作収入が増加したこと等の要因により営業収入は前年同期比で増収となりました。

営業利益につきましては、上記の大型コンサートツアー案件等に係る制作経費の計上やグッズ・商品に係る製造コストの増加、(株)極東電視台における番組制作原価の増加等により営業原価は前年同期比で増加したものの、上記の増収の影響が営業原価の増加の影響を大きく上回ったことに加えて(株)A-S k e t c hの連結除外や経費コントロールの実施等により販売費及び一般管理費が前年同期比で減少したため営業利益は前年同期比で大幅な増益となりました。

経常利益につきましては、上述の(株)A-S k e t c hの連結除外に伴い同社の関連会社であった(株)M A S H A & Rを持分法適用の範囲から除外したことが減益要因となったものの、上述の営業利益の大幅な増益の影響により前年同期比で大幅な増益となりました。

親会社株主に帰属する中間純利益につきましては、上記の増益要因に加えて保有株式の売却に伴う投資有価証券売却益等の計上及び前年同期における特別損失の計上の反動による増益に法人税等の計上を加味した結果、こちらも前年同期比で大幅な増益となりました。

上記の結果、当中間連結会計期間における当社グループの経営成績は営業収入402億5百万円（前年同期比8.0%増）、営業利益49億5千5百万円（前年同期比154.9%増）、経常利益49億9千1百万円（前年同期比148.5%増）、親会社株主に帰属する中間純利益32億5千8百万円（前年同期は1億6千万円の親会社株主に帰属する中間純利益）となりました。

各セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

〔営業収入〕

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)	増減	増減率 (%)
イ ベ ン ト 関 連 事 業	24,421	27,778	3,356	13.7
音 楽 ・ 映 像 事 業	9,484	8,856	△627	△6.6
出 演 ・ C M 事 業	3,329	3,570	240	7.2
合 計	37,235	40,205	2,969	8.0

〔セグメント利益〕

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)	増減	増減率 (%)
イ ベ ン ト 関 連 事 業	551	3,182	2,631	477.5
音 楽 ・ 映 像 事 業	948	1,049	100	10.6
出 演 ・ C M 事 業	444	723	279	62.9
合 計	1,944	4,955	3,011	154.9

〔イベント関連事業〕

当該セグメントにおきましては、主に前年同期に開催されたSEKAI NO OWARI ARENA TOUR 2024「深海」等の大型コンサートツアーの反動減の影響があったものの、2025年1月～5月に開催されたサザンオールスターズLIVE TOUR 2025「THANK YOU SO MUCH!!」や星野源「Gen Hoshino presents MAD HOPE」等の大型コンサートツアー、ブロードウェイミュージカル「キンキーブーツ」の開催等によるイベント収入の大幅な増加及びサザンオールスターズや星野源等のコンサートツアーグッズに加えてグループ外のアーティスト等に対するグッズ・商品収入の増加が営業収入を大きく牽引した結果、前年同期比で増収となりました。セグメント利益につきましては、上記の大型イベント案件に係る制作費用の計上及びグッズ・商品の製造コスト等の増加があったものの、上記の増収の影響がそれを大きく上回ったことにより、前年同期比で大幅な増益となりました。

上記の結果、営業収入は277億7千8百万円（前年同期比13.7%増）、セグメント利益は31億8千2百万円（前年同期比477.5%増）となりました。

〔音楽・映像事業〕

当該セグメントにおきましては、主に(株)極東テレビ台の番組制作収入の増加等により映像収入は増収となったものの、(株)A-S k e t c hの連結除外等により音楽収入が大幅な減収となった結果、前年同期比で減収となりました。

セグメント利益につきましては、上記の(株)A-S k e t c hの連結除外等が減益要因となったものの、(株)極東テレビ台における増益の影響及びサザンオールスターズ関連の印税収入の増加等の影響により、前年同期比で増益となりました。

上記の結果、営業収入は88億5千6百万円（前年同期比6.6%減）、セグメント利益は10億4千9百万円（前年同期比10.6%増）となりました。

〔出演・CM事業〕

当該セグメントにおきましては、主に福山雅治、大泉洋、吉高由里子、堀田真由、清原果耶等に係るCM収入が増加したこと等により前年同期比で増収増益となりました。

上記の結果、営業収入は35億7千万円（前年同期比7.2%増）、セグメント利益は7億2千3百万円（前年同期比62.9%増）となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

〔連結財政状態〕

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)	増減
総資産 (百万円)	60,841	66,350	5,509
純資産 (百万円)	37,120	40,042	2,921
自己資本比率 (%)	56.6	56.0	△0.6
1株当たり純資産 (円)	2,074.31	2,293.77	219.46

〔連結財政状態の分析〕

当中間連結会計期間末の総資産は663億5千万円となり、前連結会計年度末に比べ55億9百万円増加いたしました。これは主に仕掛品が3億1千5百万円減少したものの、現金及び預金が35億5千4百万円、受取手形及び営業未収入金が6億9百万円、建物及び構築物(純額)が2億3千6百万円、投資有価証券が9億9千3百万円、主に出資金等の増加に起因する投資その他の資産の「その他」が2億9千9百万円増加したこと等によるものであります。

当中間連結会計期間末の負債は263億8百万円となり、前連結会計年度末に比べ25億8千7百万円増加いたしました。これは主に預り金等の減少に起因する流動負債の「その他」が15億2百万円、契約負債が5億5百万円減少したものの、営業未払金が42億円、未払法人税等が6億3千4百万円増加したこと等によるものであります。

当中間連結会計期間末の純資産は400億4千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ29億2千1百万円増加いたしました。これは主に2025年5月に実施した自己株式の買付等により自己株式が6億3千8百万円増加したものの、親会社株主に帰属する中間純利益の計上等により利益剰余金が29億1千8百万円増加するとともに保有株式の時価評価額の増加によりその他有価証券評価差額金が5億4百万円増加したこと等によるものであります。この結果、自己資本比率は56.0%（前期末は56.6%）となりました。

〔連結キャッシュ・フロー〕

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,709	5,573	1,864
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,525	△857	668
財務活動によるキャッシュ・フロー	△504	△1,149	△645

〔連結キャッシュ・フローの分析〕

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ35億6千7百万円増加し、当中間連結会計期間末には310億3千4百万円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は下記のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は55億7千3百万円(前年同期は37億9百万円の獲得)となりました。

これは、主に営業債権の増加額6億1百万円、未収入金の増加額3億5千1百万円、その他の流動負債の減少額17億1千1百万円、法人税等の支払額8億8千8百万円等があったものの、一方で税金等調整前中間純利益50億7千万円の計上、営業債務の増加額42億5百万円等があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は8億5千7百万円(前年同期は15億2千5百万円の使用)となりました。

これは、主に有形固定資産の取得による支出4億2千5百万円、関係会社株式の取得による支出2億1千6百万円及び出資金の払込による支出1億9千6百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は11億4千9百万円(前年同期は5億4百万円の使用)となりました。

これは、主に自己株式の取得による支出7億円及び配当金の支払額3億3千8百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、2025年8月14日付「2026年3月期 第1四半期決算短信」で公表いたしました予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日(2025年11月14日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※上記の予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	27,793	31,347
受取手形及び営業未収入金	12,064	12,673
有価証券	555	388
商品及び製品	1,172	1,168
仕掛品	2,489	2,173
原材料及び貯蔵品	100	123
未収入金	2,554	2,836
その他	1,278	1,490
貸倒引当金	△54	△44
流動資産合計	47,953	52,158
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,101	4,337
土地	875	875
その他(純額)	831	844
有形固定資産合計	5,808	6,057
無形固定資産		
のれん	389	359
その他	561	585
無形固定資産合計	950	945
投資その他の資産		
投資有価証券	4,071	5,064
繰延税金資産	1,102	869
その他	954	1,254
貸倒引当金	△0	—
投資その他の資産合計	6,128	7,188
固定資産合計	12,887	14,191
資産合計	60,841	66,350

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	12,004	16,204
1年内返済予定の長期借入金	45	43
1年内償還予定の社債	30	20
未払法人税等	989	1,623
契約負債	3,665	3,159
賞与引当金	229	91
役員賞与引当金	44	—
従業員株式給付引当金	33	32
その他	5,073	3,570
流動負債合計	22,116	24,745
固定負債		
社債	60	50
長期借入金	146	126
役員株式給付引当金	128	109
退職給付に係る負債	1,216	1,230
その他	51	47
固定負債合計	1,603	1,562
負債合計	23,720	26,308
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,587	1,587
資本剰余金	2,284	2,284
利益剰余金	32,548	35,467
自己株式	△2,841	△3,479
株主資本合計	33,579	35,859
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	476	980
為替換算調整勘定	315	259
退職給付に係る調整累計額	83	77
その他の包括利益累計額合計	875	1,317
非支配株主持分	2,666	2,864
純資産合計	37,120	40,042
負債純資産合計	60,841	66,350

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業収入	37,235	40,205
営業原価	32,042	32,522
営業総利益	5,193	7,683
販売費及び一般管理費	3,249	2,727
営業利益	1,944	4,955
営業外収益		
受取利息	7	30
受取配当金	5	6
持分法による投資利益	74	—
施設利用料収入	3	12
その他	34	16
営業外収益合計	125	65
営業外費用		
為替差損	38	23
その他	22	6
営業外費用合計	61	29
経常利益	2,008	4,991
特別利益		
投資有価証券売却益	—	76
その他	3	3
特別利益合計	3	79
特別損失		
投資有価証券評価損	109	—
関係会社株式評価損	200	—
事業構造改革費用	855	—
特別損失合計	1,164	—
税金等調整前中間純利益	846	5,070
法人税等	314	1,546
中間純利益	532	3,523
非支配株主に帰属する中間純利益	371	265
親会社株主に帰属する中間純利益	160	3,258

(中間連結包括利益計算書)

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	532	3,523
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	139	504
為替換算調整勘定	89	△56
退職給付に係る調整額	△5	△5
その他の包括利益合計	224	441
中間包括利益	756	3,965
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	385	3,700
非支配株主に係る中間包括利益	371	265

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	846	5,070
減価償却費	270	326
のれん償却額	29	29
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△17	△10
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△4	△44
役員株式給付引当金の増減額 (△は減少)	20	42
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△171	5
受取利息及び受取配当金	△13	△36
持分法による投資損益 (△は益)	△74	—
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△76
投資有価証券評価損益 (△は益)	109	—
関係会社株式評価損	200	—
営業債権の増減額 (△は増加)	△4,180	△601
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△166	268
営業債務の増減額 (△は減少)	3,106	4,205
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△254	471
未収入金の増減額 (△は増加)	△944	△351
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△486	△207
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	2,913	△1,711
その他	2,795	△1,021
小計	3,979	6,358
利息及び配当金の受取額	13	36
利息の支払額	△3	△1
法人税等の支払額	△396	△888
法人税等の還付額	116	68
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,709	5,573
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△283	△93
定期預金の払戻による収入	791	107
有形固定資産の取得による支出	△1,108	△425
無形固定資産の取得による支出	△139	△73
有価証券の売却による収入	—	133
投資有価証券の取得による支出	△50	△49
投資有価証券の売却による収入	—	78
関係会社株式の取得による支出	—	△216
関係会社株式の売却による収入	10	—
出資金の払込による支出	—	△196
敷金及び保証金の差入による支出	△27	△110
敷金及び保証金の回収による収入	3	—
貸付金の回収による収入	37	39
その他	△757	△50
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,525	△857
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△31	△22
社債の償還による支出	△20	△20
自己株式の取得による支出	△0	△700
配当金の支払額	△339	△338
非支配株主への配当金の支払額	△108	△66
その他	△4	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△504	△1,149
現金及び現金同等物に係る換算差額	53	1
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,733	3,567
現金及び現金同等物の期首残高	29,692	27,466
現金及び現金同等物の中間期末残高	31,425	31,034

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(税金費用の計算方法の変更)

税金費用につきましては、従来、原則的な方法により計算しておりましたが、当中間連結会計期間よりグループ通算制度を適用したことに伴い、中間決算業務の一層の効率化を図るため、当社及び一部の連結子会社において、当中間連結会計期間より連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法に変更しております。

なお、この変更による影響は軽微であるため、遡及適用は行っておりません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

当社及び一部の連結子会社における税金費用につきましては、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	イベント関連 事業	音楽・映像 事業	出演・CM 事業	計		
営業収入						
イベント収入	16,996	—	—	16,996	—	16,996
ファンクラブ・商品売上収入	7,425	—	—	7,425	—	7,425
音楽収入	—	4,382	—	4,382	—	4,382
映像収入	—	4,937	—	4,937	—	4,937
その他音楽・映像収入	—	164	—	164	—	164
出演・CM収入	—	—	3,329	3,329	—	3,329
顧客との契約から生じる収益	24,421	9,484	3,329	37,235	—	37,235
外部顧客への営業収入	24,421	9,484	3,329	37,235	—	37,235
セグメント間の内部営業収入 又は振替高	409	42	0	453	△453	—
計	24,831	9,527	3,330	37,688	△453	37,235
セグメント利益	551	948	444	1,944	—	1,944

(注) 1. 報告セグメントに帰属しない全社費用の金額は、各報告セグメントの金額に按分しております。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	イベント関連 事業	音楽・映像 事業	出演・CM 事業	計		
営業収入						
イベント収入	17,008	—	—	17,008	—	17,008
ファンクラブ・商品売上収入	10,770	—	—	10,770	—	10,770
音楽収入	—	3,346	—	3,346	—	3,346
映像収入	—	5,420	—	5,420	—	5,420
その他音楽・映像収入	—	89	—	89	—	89
出演・CM収入	—	—	3,570	3,570	—	3,570
顧客との契約から生じる収益	27,778	8,856	3,570	40,205	—	40,205
外部顧客への営業収入	27,778	8,856	3,570	40,205	—	40,205
セグメント間の内部営業収入 又は振替高	360	13	37	411	△411	—
計	28,138	8,870	3,608	40,617	△411	40,205
セグメント利益	3,182	1,049	723	4,955	—	4,955

(注) 1. 報告セグメントに帰属しない全社費用の金額は、各報告セグメントの金額に按分しております。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年5月15日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式の取得に係る事項を決議し、自己株式432,000株を取得いたしました。

当該自己株式の取得及び「役員報酬BIP信託」からの自己株式の交付等により、当中間連結会計期間において自己株式が638百万円増加し、当中間連結会計期間末において、自己株式が3,479百万円となっております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。